

復興への取り組み

生活環境改善を要望

6月定例会の質疑では、復興の取り組み、ゴミ分別方法や生活環境の改善など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。そのなかの一部をご紹介します。

ゴミ分別の周知方法はいかに

門馬 巧議員

町内には、個人の住宅などを宿舎として作業員が生活しています。貸し出している方に対するゴミ分別などの周知や、その方を通じ、作業員に対する周知など、方法はありませんか。

大和田福祉環境グループリーダー

元請業者には、チラシを作成・配布してきました。それとは別に家屋などを貸し出している方の調査などを行い周知に努めます。

従前の補助事業との整合性は

渡邊正俊議員

今年度の電気牧柵器を貸し出す事業と従前からある広野町電気牧柵設置補助事業の整合性はどのようにするのですか。

鈴木産業グループリーダー

従前の補助事業もそのまま利用できる形をとっていきたいと考えています。

減反する土地は対象となるのか

北郷幹夫議員

営農再開支援事業補助金は、減反する土地も対象となるのですか。

鈴木産業グループリーダー

保全管理をされている農地についても対象になるだろうという判断はしていますが、現在、確認作業をしています。

町発注の工事は工期内に終了しているか

渡邊正俊議員

町で行われている工事は、工期内に終了していますか。

黒田副町長

町が発注している工事は、工期を定め、工期内完成が原則です。工事そのものは工期内にできています。



今年から作付けが再開された水田

子宮けいがんワクチンの町の対応は

塩 史子議員

子宮けいがんワクチンは副作用が多く、厚生労働省でも推奨しないこの対応をしていますが、町の対応はどうしますか。

根本町民保健グループリーダー

厚生労働省から届いたパンフレットを、接種を完了している方を除いた対象者に送付しました。

震災の記録をどのような方法で情報収集するのか

渡邊正俊議員

震災の記録を収集して製本化すると思いますが、どのような形で資料などを収集しますか。

中津企画グループリーダー

記録や写真などを広く町民に呼びかけ、調査員が個別に町民などに聞き取りをするなど資料の収集に努めたいと思います。次年度予算で配布します。



旧片寄工業跡地（下北迫・東町）

町民感情を十分考慮しての申請か

渡邊正俊議員

震災以前・以降も違法行為が繰返された土地（旧片寄工業跡地）を、不足しているガレキ置場として町が借上げなければならぬのですか。町民的な感情もあると思いますが、十分考慮されての申請ですか。

黒田副町長

減容化施設ができるまでの間、可燃物を一時的に保管する場所はどうしても必要です。過去の経緯があります。新しい別な場所を確保するといっても現実には難しい面もあります。そこで、なんとか、あの場所を活用したいという思いで交渉を進めているところです。

作付け農家に対する補助制度は

渡辺久長議員

25年度、作付けしない水田は営農再開補助制度で手入れされますが、作付けした農家に補助制度の検討などがありますか。

黒田副町長

2年間作付けしなかった水田の管理は大変です。苦勞した人にも何らかの配慮が必要だろうと思います。公平公正などの兼ね合いを見ながら、何らかの思いが届くようなことを検討していきたいと思っています。



震災から復興へ前進する広野町（小中学校田植え体験）